

京都市が実施している日本語教室に関する取組

1 京都市国際交流会館での日本語教室に関する取組

(1) 日本語教室「やさしい日本語」の実施

生活の中の身近なテーマを使い、外国人が日本に来て生活するために必要な知識を日本語学習に採り入れ、ビデオや実技などの体験を通して、一日も早く京都の生活に慣れてもらうように指導するごく初心者向けの講座。全12回で参加費6,000円。

- ・やさしい日本語Ⅰ：一日も早く京都の生活に慣れてもらうように指導するごく初心者向けの講座
- ・やさしい日本語Ⅱ：ひらがな・カタカナの読み書きが概ね出来、文章を書くことに興味のある方のための講座

(2) 日本語教室「日本語クラス」の実施

ボランティアによる日本語教室。参加費は1回50円。下記の5つの目的を掲げて日本語学習支援に取り組んでいる。

- ・生活の場で使う日本語の習得
- ・学習者とチューターとの対等な関係ー「先生」と「生徒」ではない双方向の学びあい
- ・学習者同士、学習者とチューター、日本語クラスに関わる人々の出会いをつなぐ場所の提供
- ・学習者のニーズをつかむー学習者が学びたいことを一緒に勉強する場所
- ・「日本語学習だけ」ではなく、広く学ぶことのできる場所

取組例：日本語クラスでの学習者を対象に、火事を想定して消防署への電話の掛け方や消火器の使い方などの実践をしてもらっている。

2 ボランティアによる日本語教室開講支援の取組

京都市国際交流協会の「日本語クラス」で過去に活動していたボランティアによる、日本語教室開講を支援するため、下記の取組を京都市、公益財団法人京都市国際交流協会、日本語教室開講希望者で協力して行っている。

(1) 市内在住のフィリピン人を主な対象とした日本語教室の開講支援

ボランティアとフィリピン人の学習者が、自分たちの手で教室を運営していくために料金やカリキュラムについて相談し、平成24年6月3日から教室を開講している。

	教室1	教室2
会 場	早川ビル5階（中京区河原町三条）	京都市地域・多文化交流ネットワークサロン（南区東九条）
開講日	毎週日曜日 午後2時～午後3時半	毎週火曜日 午後2時～4時
参加者数	平均14～5名	平均4～5名
ボランティア	7名	1名

(2) 大学の留学生等の家族を主な対象とした日本語教室の開講支援

インドネシア留学生協会に加盟する子育て中の学習希望者が自宅を教室として提供し、ボランティアとともに運営。平成24年5月21日から開講している。

会 場：学習者の自宅（西京区）

学習日：毎週火曜日 午前11時から～午後0時

学習者：4～5名／回

ボランティア：1名

3 京都市教育委員会の取組

(1) 日本語教室の開設等

日本語指導が必要な児童生徒が多数在籍する学校について、担当教員を配置し、日本語教室を開設しており、時間内抽出指導や放課後指導、家庭訪問等の取組を行っている。

・平成23年度開設校数

小学校9校，中学校4校

・平成23年度講師数

常勤講師13名，非常勤講師5名

・平成23年度の日本語・適応指導員派遣状況

小学校7校 中学校4校 計11校

(2) 初期日本語指導員の派遣

来日して間もない日本語指導が必要な児童生徒に対して、来日初期に重点的に日本語習得の支援を行う初期日本語指導員を派遣している。(週2回で来日後3～4ヶ月間、1回2時間、小学校は25回、中学校は35回が上限。謝礼2,000円/時間)

・平成23年度派遣状況

小学校8校・10人 中学校6校・8人 計14校・18人

(3) 日本語指導ボランティアの派遣

市立学校に在籍する日本語指導が必要な児童・生徒に対して、言語や生活習慣等に配慮したきめ細やかな指導を図るため、京都市国際交流協会、京都市ユースサービス協会（伏見青少年活動センター）及び京都外国語大学との連携により、日本語指導ボランティアの派遣を行っている。(週1～2回、放課後1時間程度、年間52回が上限。謝礼1回1,666円/時間)

・平成23年度派遣状況

小学校45校・77人，中学校22校・31人 計67校・108人